

1 - C 調査、診断

． 外 装 塗 仕 上 げ 材 の 劣 化 診 断

1 ． 変 退 色 の 診 断

1) 劣化の現象

劣化によって塗膜表面の色が減退したり、何らかの原因で、もとの色と異なった色に変化する現象をいう。

2) 調査方法

- a) 調査箇所は均一な明るさで、乾燥面を選定する。
- b) 調査部の新設時の色を、劣化が進行していない部分等を参考に推定する。
- c) 推定色と調査面を相対比較して、JIS L 0804 変退色用グレースケールを用い変退色の程度をGスケール値として求める。

3) 変退色の評価基準

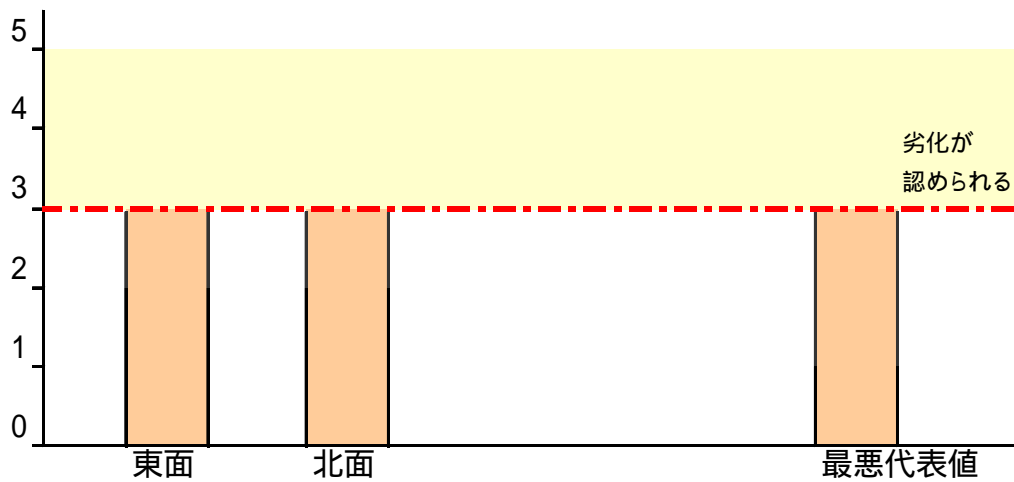
劣化ディグリー	Gスケール値	劣 化 状 態
C D 0	変退色無し	変退色無し
C D 1	5	変退色がほとんどない
C D 2	4 . 5	変退色がわずかに認められる
C D 3	4	変退色が認められる
C D 4	3 . 5	変退色がかなり認められる
C D 5	3 以下	変退色が顕著に認められる

表 C I - 1

変 退 色 の 調 査 表

建物名称：*****

調 査 部 位：B棟塔屋
既存改装塗仕上げ材：吹付けタイル



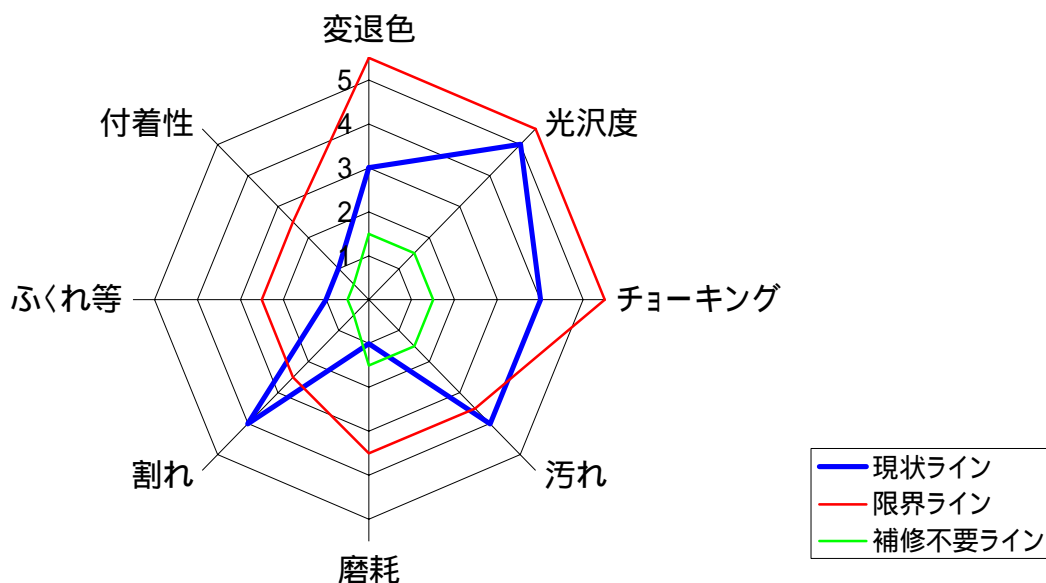
調 査 部 位	Gスケール値	劣化ディグリー	備 考
B棟塔屋 東面	4	CD 3	
B棟塔屋 北面	4	CD 3	

劣化ディグリー	Gスケール値	劣 化 状 態
C D 0	変退色無し	変退色無し
C D 1	5	変退色がほとんどない
C D 2	4.5	変退色がわずかに認められる
C D 3	4	変退色が認められる
C D 4	3.5	変退色がかなり認められる
C D 5	3以下	変退色が顕著に認められる

1 - D 調査部の評価

- 1 調査部外装塗仕上げ材の評価（外観重視）

建物名称：*****



外観重視の調査部補修要否判定レーダーチャートグラフ

劣 化 現 象		劣化ディグリーに対する 補修グレード					
	劣化ディグリー	0	1	2	3	4	5
変退色	CD	0	1	2	2	3	3
光沢度低下	GD	0	1	2	2	3	3
チョーキング	CK	0	1	2	2	3	3
汚れ	CT	0	1	2	3	4	4
磨耗	W	0	1	2	3	4	4
割れ	C	0	3	3	4	5	5
混在	M	0	3	3	4	5	5
付着性低下	AS	0	3	3	4	5	5

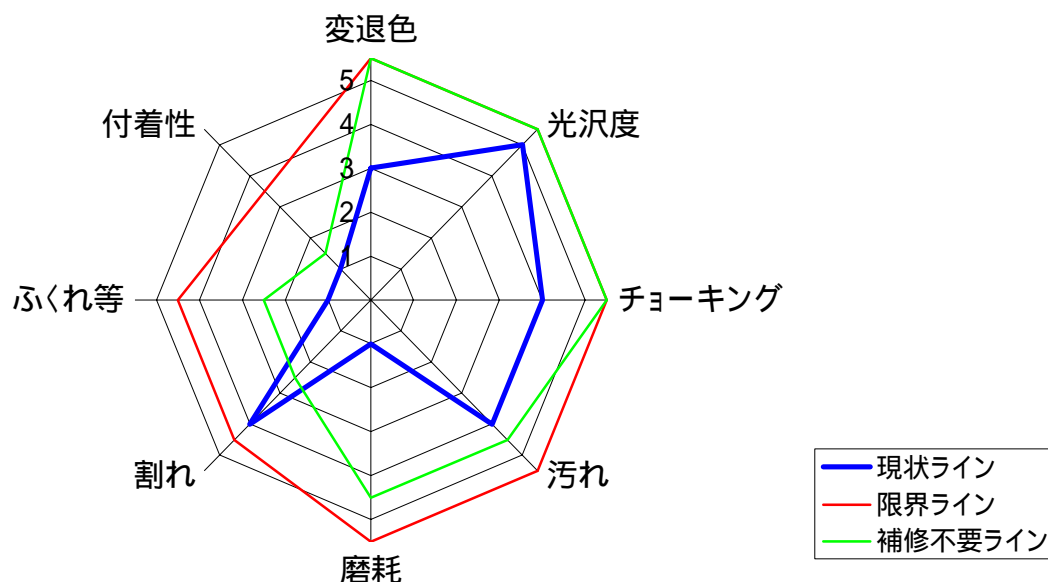
外観重視の劣化現象別補修要否判定表

・外装仕上げ材外観重視の評価

外観性能の劣化が著しく且つ、目立ちますので、外観性能保持効果の有る塗替等改修が必要と思われます。

- 2 調査部外装塗仕上げ材の評価（躯体保護性能重視）

建物名称：*****



躯体保護性能重視の調査部補修要否判定レーダーチャートグラフ

劣化現象		劣化ディグリーに対する補修グレード					
	劣化ディグリー	0	1	2	3	4	5
変退色	CD	0	0	0	0	1	1
光沢度低下	GD	0	0	0	0	1	1
チョーキング	CK	0	0	0	0	1	1
汚れ	CT	0	0	0	1	1	2
磨耗	W	0	0	0	1	1	2
割れ	C	0	1	1	2	3	4
混在	M	0	1	1	2	3	4
付着性低下	AS	0	1	2	3	4	4

躯体保護重視の劣化現象別補修要否判定表

・外装仕上げ材躯体保護機能重視の評価

外観性能の劣化は部分的に認められるものの、塗膜の割れ、剥がれ等はほとんどなく下地保護性能のみを重視するのであれば現時点での補修は必要ないと思われます。